

成果事例に学ぶ働き方改革成功の秘訣

宣言企業の 成果事例集

■日本マイクロソフト株式会社 ■三菱地所株式会社 ■株式会社ジャロック ■株式会社横引シャッター
■丸和精光株式会社 ■SCSKサービスウェア株式会社 ■イーソル株式会社 ■サンワテクノス株式会社
■株式会社メディプラス ■株式会社ディノス・セシール ■ライフネット生命保険株式会社 ■藤田観光株式会社

一歩先行く、働き方へ

TOKYO働き方改革宣言



指紋認証による出退勤記録システムの導入、 残業の事前申請制度で「定時に帰る文化」をつくる

株式会社ジャロック

http://www.jaroc.com/



本 社 東京都中野区中央2-59-18 ジャロックビル
 設 立 1963年5月
 代 表 者 代表取締役社長 齊藤 力丸
 資 本 金 3,400万円
 従 業 員 数 22名※2017年12月現在

働き方改革宣言

各社員が自分自身を見直すきっかけを作り、
一年後、現在よりワークライフバランスのとれた
働き方・休み方ができるよう改革を行います。

取組内容

働き方の改善

- ① 残業の事前申請を義務化し要/不要の精査、
不要な残業を削減していきます。
それに伴い申請残業時間の実施分への
事後訂正ができるよう申請制度を見直します。
- ② 定時にアナウンスを入れ終業を促します。

休み方の改善

- ① 各社員が自分自身の残業時間、休日出勤、
振替休日取得日数、有休取得日数・時間等を
把握できるような仕組みを整備し運用します。
- ② 有休の取得方法について取得しやすくなるよう
周知、社内教育を実施します。

具体策

指紋認証による出退勤記録システムの導入で 勤務時間を見える化 残業の事前申請で定時退社が浸透

社員の出退勤管理に利用していた紙のタイムカードをやめて、指紋認証による電子式を導入。打刻忘れや記録の不正確性の課題が解消され、社員一人ひとりが自分の労働時間の状況をWeb上でいつでもチェックできる体制に。また、残業は終業の30分前までに上長への事前申請を義務付け、不要不急の業務は翌日以降に調整するよう促している。定時を過ぎると、「早く帰ろう!」という社員同士の声かけが行われるようになった。

具体策

有給休暇取得は1時間単位で取りやすく 業務を共有し、急な休みにも対応できる強い組織に

より休みやすい環境を目指して、
有給休暇は1時間単位で取得
OKに。業務の進捗状況は社内
で共有しているため、子どもの
発熱など突発的な休みでもフォ
ローし合える。



物流センター内のレイアウト設計、物流機器の開発・製造・販売を主事業とするジャロック。1963年の創業以来、独自のカイゼン(改善)提案で物流の効率化を進めて顧客との信頼関係を築いてきた。働き方についても1時間単位での有給休暇制度を整えるなど改善を重ねてきた。

今回の「働き方改革宣言」では、社員一人ひとりが自身の働き方を見直しやすい環境へと前進。出退勤の管理法を見直し、社員がいつでも残業時間や休日出勤などの状況をセルフチェックできる勤怠管理システムを導入することで、社員の意識改革を高めている。有給休暇は1時間単位で取得可能とし、休みの予定は社内の共有カレンダーで見える仕組みに。情報共有によって業務の滞りを防いでいる。10年後、20年後に、介護に関わる社員が増えた時を見据え、どんな状況でも「人財」の力を発揮できる組織を目指している。

INTERVIEW



営業本部 営業業務部
部長代理
田中 真美

タイムカードの電子化をはじめとする環境整備によって、今まで漠然としか見えていなかった働き方の実態を客観的に把握できるようになりました。定時退社が増え、「時間単位の有給休暇を取ってプライベートな時間を楽しみました」という声も。今後も有給休暇取得率アップに向けた取組を強化していきます。

VOICE



営業本部
営業業務部
佐藤 千裕

残業に頼らず定時までに効率的に仕事を進める意識が高まり、TO DOリストを作成して優先順位をつけて業務を行う習慣が身に付きました。オンオフのメリハリを効かせて休みも楽しむ雰囲気生まれ、職場の人間関係も良好です。趣味や家族との時間などでしっかりと休養を取ることで、仕事のパフォーマンスも高まると実感しています。

ライフとワーク、どっちも楽しく。



ライフ・ワーク・バランスを推進する
企業の取組をWebでも公開

<https://hatarakikata.metro.tokyo.jp/>



 東京都産業労働局

©東京都2018

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

編集・発行/TOKYOライフ・ワーク・バランス推進窓口
〒112-0004 東京都文京区後楽2-3-28 K.I.S販田橋ビル6階
TEL:03-3868-3401

印刷物規格表第1類

印刷番号(29)303

 R270

リサイクル適性(A)

この印刷物は、自燃用の紙へ
リサイクルできます。